

帯広市立豊成小学校 学校便り

Obihiro Housei Elementary School



ほうせい

<http://www.housei.obihiro.ed.jp>

- たくましく元気な子ども
- よく考え進んで学ぶ子ども
- 明るく心豊かな子ども
- 力を合わせやりとげる子ども

令和6年6月14日 No.5

文責 平野 司

勝っても、負けても 全力で取り組んだ運動会

6月8日(土)晴天の下、第55回運動会を実施しました。寒い日が続く中での練習が多かった今年でしたが、本番は初夏を思わせる暑さも感じながら、子どもたちは、思う存分、力を発揮することができました。

保護者の皆さんのたくさんの声援や大きな拍手が子どもたちにとって、何よりのエネルギーとなりました。ありがとうございました。



運動会の目標は、運動能力を高めることはもちろん、責任感や連帯感を高め、あきらめない態度を育てることにあります。勝っても負けても、運動が得意な子も、苦手な子も練習や本番の中で学んだことがあるはず。別の場面でも、責任感やあきらめない思いを生かせるよう、今後も指導していきます。

前日並びに当日、準備や後片付け、写真撮影、交通整理等のお手伝いをいただいた地域やPTAの皆さん、譲り合いの心で観覧、応援いただいた皆さんに重ねて、感謝申し上げます。

いじめ防止に向けて

学校では、6月・11月・2月と3回のいじめアンケートを実施しています。6月に入り、今年度、1回目のいじめアンケートを行いました。嫌なことをされている、された経験のある児童が複数名いました。

アンケートに記入した児童と個別に面談を行い、その状況や現在の様子を聞き取り、相手の児童にも話を聞き、早期の解消を図っています。

「いじめ見逃しゼロ」という意識の下、“その行為がいじめかどうか”に関わらず、嫌なことをされたと感じる**子どもを守る**ことを大切にするとともに、未然防止の観点から、**他人との望ましい関係づくり**ができるよう指導しています。

アンケートには、「いじめはどんなことがあっても許されることではないと思いますか。」という設問があります。94.1%の児童が「そう思う。」、2.4%の児童が「そう思わない。」、3.5%の児童が「よくわからない。」と回答(1年生を除く)しています。昨年度同時期に比べると、「いじめはよくないことだ。」と認識している児童は微増していますが、今後も、「なぜ、その言動は相手を傷つけてしまったのか。」「どうすればよかったのか。」など、丁寧に指導していき、「いじめは決して許されることではない。」という思いを100%にしていきたいと思っています。

アンケートでは見えない言動や伝えられない児童もいます。**学級の担任のみならず、学年・学校全体で**日常生活や小さな変化を見逃さず、誰でもいいので、**相談できる体制**を整えるとともに、積極的に言葉掛けしていきます。

ご家庭でも気になる言動がある、落ち込んでいるなど、日頃との違いを感じましたら、話を聞いていただき、学校にご相談ください。

【令和6年度 豊成小学校いじめ防止基本方針】

毎年、実態に応じた形で対応できるように、見直しをかけて、ホームページに掲載しています。



真剣な眼差しで ～薬物乱用防止・非行防止教室～

6月11日(火)には、帯広警察署の柳町巡査長を講師として、お迎えし、非行防止教室(5学年)、薬物乱用防止教室(6学年)を開催しました。

スライドを使って、小学生にも分かりやすく、ネットの怖さや犯罪に巻き込まれないよう気を付けること、薬物による脳への影響などについて、警察官として経験された事例も交えながら、説明いただきました。子どもたちはメモを取ったり、質問をしたりと真剣に話を聴き、学ぶことができました。



キラリ! 豊成っ子

第44回全日本バレーボール小学生大会
帯広地区予選
稲田 JVC 混合の部 第3位